



杏林大学医学部附属病院 精神神経科

うつ精査入院プログラムのご案内

精神神経科では2014年から「長年うつの治療をしているのになかなか良くならない」と困っている方を対象に、うつが治らない要因を調べる7日間の検査入院プログラムを実施しています。

約200例の実績を踏まえ、医師、公認心理師、作業療法士等によって集中的に検査を行い、診断をはじめ、なぜうつが治らないかをご説明し、今後の治療方針についてご提案いたします。

① 対象の方

- ・18歳以上の方
- ・一定期間以上うつ病の治療を受けている方
- ・精神科主治医から紹介状を当院に郵送できる方

② お申し込みの流れ

(1) 精神科主治医に本プログラムの参加についてご相談の上、紹介状の作成を依頼してください。紹介状には以下の項目をご記載ください。

- ・診断名
- ・これまでの経過
- ・入院をご希望の方の電話番号、住所



(2) 主治医から下記住所に紹介状をお送りください。

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

杏林大学医学部 精神神経科 うつ病外来 担当者 宛

(3) 紹介状の内容をもとに本プログラムが患者様にとって適切であるか検討し、こちらからご本人またはご家族にお電話でご連絡します。適応があった場合は、その際に初診の予約をお取りします。

(4) 初診で経過の詳細をうかがい、本プログラムでの入院が適切かをあらためて判断させていただきます、そこで入院予約をお取りします。



③ 本プログラムの検査内容

面接	問診 精神科診断面接 躁・うつ状態臨床評価	・これまでの経過を詳しくうかがいます ・他に当てはまる診断がないか判断します
身体検査	画像検査 血液検査 心電図検査	・うつ病に関わる身体疾患について調べます
心理検査	認知機能検査 対面による性格検査 自己記入式質問紙	・記憶、思考、理解、判断の能力を評価します ・性格や感じ方の特徴を調べます
作業療法	行動特性の評価	・行動面に現れている性格の特徴を評価します
必要に応じ 睡眠検査	終夜睡眠ポリグラフ検査	・睡眠の問題がないかを調べます

※状態に応じて実施する検査内容を変更する場合があります。

④ おおまかなスケジュール

外来初診	問診、精査入院が適切かどうかの判断
入院1日目（土曜）	入院、医師による問診、血液検査
入院2日目（日曜）	自己記入式の心理検査
入院3日目（月曜）	心理士とともに行う心理検査①
入院4日目（火曜）	心理士とともに行う心理検査②
入院5日目（水曜）	睡眠検査（必要に応じて）
入院6日目（木曜）	画像検査、医師による面接
入院7日目（金曜）	作業療法、退院
外来診察	とりまとめた結果の説明

※場合によって変更になることがあります。

⑤ 費用

10万円程度（自己負担3割の場合）

※ 検査内容に応じて変化することがあります。

※ 個室の場合、別途差額室料がかかります。

⑥ Q&A

Q：紹介状があれば必ずプログラムに参加できますか？

A：残念ながら必ず参加できるというわけではありません。紹介状による情報と初診での問診で、本プログラムが適切かどうかを判断させていただきます。病状等によっては見合わせる可能性があります。

Q：退院からどのくらいで検査結果を知ることができますか？

A：退院から約1ヶ月後に外来でお伝えいたします。